

新丸山ダム環境調査検討委員会（第18回） 議事概要

1. 日 時 平成26年 8月7日（木） 14:55～16:00
2. 場 所 八百津町ファミリーセンター 2階 講義室
3. 出席委員 西條 好迪 委員長、大塚 之稔 委員、小笠原 昭夫 委員、梶浦 敬一 委員、
駒田 格知 委員、野崎 悠子 委員、野平 照雄 委員
4. 議 事 (1) 環境影響検討（水環境）について
(2) 環境影響検討（動物・植物・生態系）について
(3) 今後の予定について
5. 配付資料 資料一覧
資料-1. 議事次第
資料-2. 委員名簿
資料-3. 出席者名簿
資料-4. 配席表
資料-5. 環境影響検討（水環境、動物・植物・生態系）について
資料-6. 今後の予定について
資料-7. 第17回新丸山ダム環境調査検討委員会主な意見と対応状況
資料-8. 新丸山ダム環境調査検討委員会（第17回）議事概要

6. 主な審議結果等

- (1) 環境影響検討（水環境）について
(2) 環境影響検討（動物・植物・生態系）について

※（1）及び（2）は一括審議

- ・「生息環境として適さなくなる」という表現を「改変を受ける」というような明確な表現とする。
- ・流入末端にアジメドジョウの生息環境が出現すると予測されているが、定着して繁殖するまでに10～20年かかる可能性があるため、必要に応じ動物の定着時には時間を要する等の記載を加える。
- ・クマタカの繁殖活動についての予測は不明な部分が多いので予測の表現から省くこととする。
- ・典型性の調査方法で調査時期について春季が抜けているので加える。
- ・生態系上位性について環境保全措置無しとなっているが、工事箇所の近傍でクマタカが繁殖していた場合は一時中断等を行うので、工事中の対応については「環境配慮」として記載する。
- ・環境保全措置と環境配慮との使い分けの説明を記載する。
- ・切土法面について今後、全面吹きつけでないフリーフレーム工法などの検討を行う。
- ・土捨場という表現について、今後「残土処理場」と併記する。

- (3) 今後の予定について
- ・特になし

以 上